

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2020-26172 (P2020-26172A)

【公開日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-007

【出願番号】特願 2018-151052 (P2018-151052)

【国際特許分類】

B 6 0 B 27/02 (2006.01)

B 6 2 M 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 B 27/02 Z

B 6 2 M 17/00 E

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 5 日 (2020.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

第 1 部材 1 4 の少なくとも一部は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、第 2 部材 1 6 よりもハブ軸 1 2 の第 1 端部 1 2 A 側に設けられることが好ましい。第 1 部材 1 4 の少なくとも一部は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、ハブ体 2 0 よりもハブ軸 1 2 の第 1 端部 1 2 A 側に設けられることが好ましい。第 2 部材 1 6 の少なくとも一部は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、ハブ体 2 0 よりもハブ軸 1 2 の第 1 端部 1 2 A 側に設けられることが好ましい。第 1 部材 1 4 の全体および第 2 部材 1 6 の全体は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、ハブ体 2 0 の中央よりもハブ軸 1 2 の第 1 端部 1 2 A 側に設けられることが好ましい。伝達機構 2 2 および第 1 係合部 3 0 は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、ハブ体 2 0 よりも第 1 端部 1 2 A 側に設けられることが好ましい。この場合、第 1 係合部 3 0 は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C において、伝達機構 2 2 よりもハブ体 2 0 の中央とは反対側に設けられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

大径部 3 8 の少なくとも一部は、ハブ軸 1 2 の径方向 X において、ハブ軸 1 2 とハブ体 2 0 との間に配置される。大径部 3 8 は、ハブ軸 1 2 の軸方向 C においてハブ軸 1 2 の第 1 端部 1 2 A 側の第 1 端部 3 8 A と、ハブ軸 1 2 の軸方向 C においてハブ軸 1 2 の第 2 端部 1 2 B 側の第 2 端部 3 8 B とを含む。